

前奨大連

前橋市生涯学習
奨励員連絡協議会

責任者 大井常利

事務局

前橋市教育委員会
生涯学習課内

〒371-0023

前橋市本町2-12-1

前橋プラザ元気21
3階

☎(027) 210-2198

コロナ禍の中で生涯学習活動

感染症に翻弄されて

世界を大混乱に落とし入れている新型コロナウイルス感染症の蔓延。

日本ではクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号の報道から端を発し、令和二年の初頭から四年六月の今日までは二年半、ほとんどの社会活動・経済活動が自粛を余儀なくされ、最近徐々に緩和されつつあるものの依然として沈滞した状況にあります。

したがって、この間の各自治会や各地区での生涯学習に関わるイベント・行事・各種会合などのほとんどが中止の経過を辿ってきました。

しかし、この様な厳しい状況のなかでも一部の自治会あるいは地区では感染症対策に万全を期して、様々な工夫を凝らしての多様な活動が行われていました。

それは本年三月に発行された『前橋市生涯学習奨励員実践事例集』に掲載されている十の事例です。

これらの事例はそれぞれ異なる視点で実践された活動であり私達奨励員にとって大いに参考になるものと思っています。

身近な実践活動を



その見直しとは？リサイクル工作の作り方(四十種)、折り紙の折り方(五十余種)等ではより見易く、作り易く修正する事であり、パワーポイントでクイズ形式で作成した雑学クイズ(十巻)、生活の知恵問答(三巻、言葉の遊び(三巻)等では全体のブラッシュアップとデータのアップデートを行いました。この時期、自己の実績を振り返ったり、他所の知恵を学んだりする事も「有り」かな！などと考えています。

これからはコロナの感染防止を大前提に奨励員活動の場を徐々にでも広げて行きたいと願っています。

私の事例も事例集の最後の十一例目として掲載させていただきました。

前奨連副会長 笠原 弘

それは前十例に対し一歩二歩下がってステイホームで出来る事を模索しての苦肉の結果です。
自粛中に生まれたもの

私は前々から様々なイベントや講座などで活用するための資料作りを種々行ってきました。このコロナ禍の時期を逆手に取り、アフターコロナでの更なる活用を目指してそれら資料の見直しを行いました。

その見直しとは？リサイクル工作の作り方(四十種)、折り紙の折り方(五十余種)等ではより見易く、作り易く修正する事であり、パワーポイントでクイズ形式で作成した雑学クイズ(十巻)、生活の知恵問答(三巻、言葉の遊び(三巻)等では全体のブラッシュアップとデータのアップデートを行いました。この時期、自己の実績を振り返ったり、他所の知恵を学んだりする事も「有り」かな！などと考えています。

前奨連総会

人をつなぐ力を

新任奨励員に委嘱状交付

五月二〇日(金)に前橋プラザ元気21ホールにおいて、令和四年四月一日(令和七年三月三十一日)までの生涯学習奨励員二八四名が前橋市生涯学習推進本部、山本龍本部長から委嘱されました。

引き続き退任奨励員一八名に感謝状が贈られました。その後、前奨連総会が開催されましたが、コロナ感染拡大防止を考慮して、奨励員の皆様には事前に総会資料と表決書を送らせていただきました。したがって総会は各地区代表と前奨連役員二〇名のみ出席で

行われました。

「生きることには知る事、様々な気づきと共に生きることを学ぼう。感動の種を蒔き、人とのつながりを育む活動を。今年こそは様々な事業が取り組めることを切に願う」と大井会長のあいさつがあり、事業報告・決算報告・役員承認・事業計画・予算案等議事がすすめられました。

今年度事業に関しては、生涯学習フェスティバルはコロナ感染拡大の状況にあり、総会後に中止となりました。他には奨励員セミナー、生涯学習実践研究会などを予定していますが、コロナの状況を配慮し、実施する予定です。

令和4年度

前橋市生涯学習奨励員連絡協議会

役員

会長	大井 常利	(総社地区)
副会長	笠原 弘	(大胡地区)
事務局	吉田 睦	(永明地区)
会計	福田 覚司	(城南地区)
監事	中山 洋子	(芳賀地区)
監事	中川 春雄	(東地区)

理事

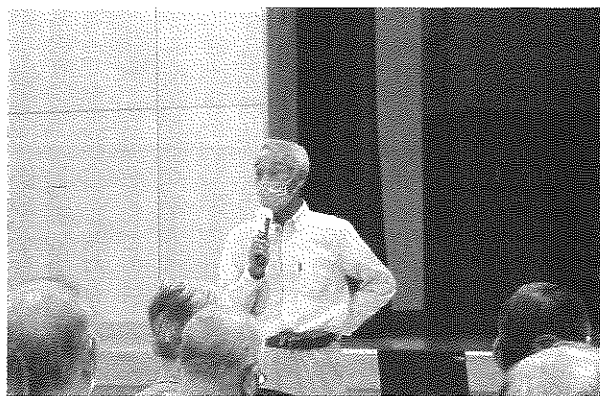
持田 保	(一中地区)	篠原 豊	(旧二中地区)
岸 洋一	(三中地区)	関 壽夫	(旧四中地区)
鈴木政太郎	(五中地区)	塩原 義生	(上川淵地区)
持田みね子	(下川淵地区)	中山 洋子	(芳賀地区)
吉岡 一男	(桂萱地区)	中川 春雄	(東地区)
伊藤 茂男	(元総社地区)	大井 常利	(総社地区)
宗 義彦	(南橋地区)	鹿島 忍	(清里地区)
吉田 睦	(永明地区)	福田 覚司	(城南地区)
笠原 弘	(大胡地区)	長岡 一志	(宮城地区)
青木 裕	(粕川地区)	小林 勇	(富士見地区)

新任生涯学習奨励員 研修会

令和 4 年 6 月 30 日 (木)

中央公民館 大ホール

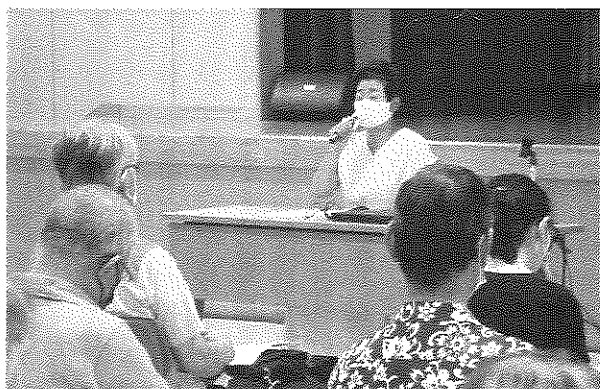
令和 4 年度の新任奨励員の研修会が 6 月 30 日に中央公民館で開かれ、DVD ナトコ映画「公民館」の視聴、前橋市の生涯学習についてと具体的な奨励員活動の紹介などがありました。研修会の詳報は 4 面に掲載いたします。



奨励員の活動事例を紹介する静奨励員



資料を手に学ぶ新任奨励員



人のつながりの大切さを語る持田奨励員

生涯学習奨励員。いま、わが町で。

引き継がれる行事で

いにしえを偲ぶ

東地区・古市町奨励員

高橋 房雄

町名古市の由来は、古代上野国の国府の南にあり、東山道の群馬駅（くるまのうまや）に近く、多くの市が立ったことといわれています。そんな歴史あるわが町の祭礼について紹介します。

コロナ禍の下で、令和二年、三年の活動・行事がほとんど中止でしたが、毎年七月に行われる「八丁ノ辻立て」と「和尚人祭」は実施できました。

前者は、十三か所の町境に地元の大徳寺からいただいた護符を先に結んだ竹を立てます。これは災いや疫病が外から街へ侵入するのを防ぐためです。

後者は、かつて村の西はずれにあった和尚塚で行われていた祭りです。この塚の由来は諸説ありますが、二百年以上前、村に立ち寄った尼僧が飢饉と流行病に苦しむ村人たちを見て、これを鎮めるため、生きたまま塚の中に入り、七日間念仏を唱え続けたということです。百年前、塚は新しく開設された新前橋駅と前の県道とを結ぶ村道造成工事のため、無くなってしまいました。しかし、塚の上に建立されていた

石造りの多宝塔は、村の稲荷神社境内（現在の町公民館前庭）に移設されました。

戦前まで、その宵祭りには、村の集落から塚までの参道両側に手作りの灯笼張りや露店が立ち並び、遠くの村々からも参拝者が押し寄せたそうです。

現在は、毎年七月十五日、多宝塔の前に酒、野菜等をお供えし、大徳寺住職が読経して、厄除け、疫病（新型コロナウイルス等）退散を祈願しています。

この祭礼も戦後、一時中断していましたが、平成八年に町内会の行事として復活しました。まさしく温故知新、今後もこのような大切な行事を続けて、広く町民に知ってもらい、わが町への理解を深めてもらえたらと思います。

全員が力を合わせて

赤城白川の環境整備

富士見地区・田島奨励員

高山 敏行

富士見地区生涯学習の活動を報告します。活動のテーマは白川堤防の環境整備です。生涯学習・地域づくり・自

治会の三団体で活動を行って、今年で五年目になります。活動前はゴミと空缶やペットボトルが散乱していて、雑木・雑草が生い茂り、良い環境ではありませんでした。

この白川は過去に大きな災害が起きている。昭和二年のカスリン台風で富士見だけで一〇四人が亡くなると言う大きな災害でした。白川の上流で山腹崩壊が起きた為、土石流が発生し、白川の堤防が決壊して大きな被害になっています。この災害を忘れない様に富士見かるたで『大水まもる白川堤防』と残されています。

最近ではゲリラ豪雨による大きな災害報道を聞きます。普段の白川は水の少ない、小川のような川ですが、いつ豪雨災害が起るか判らない状況であります。大水が出て崩れない、強固な堤防にする事。白川環境整備の計画は『白川に桜並木で花を咲かそう!』です。現在は準備段階ですが、堤防に彼岸花とコスモスを植えて、彼岸花街道とコスモス街道にしています。今年も五回の草刈りとゴミ拾いを行なう予定です。活動の初め頃は参加者が少なく大変な作業でした。雨と暑さで予定の二時間でも終わらない事もありました。今年には参加者の増加に加えて、消防団の力強い応援があり助かっています。目的の道のりは厳しいですが、白川の堤防に桜の花が咲くまで頑張りたいと思います。



白川沿いで清掃作業

三番叟の舞台を飾る

「垂れ幕」「腰幕」一新へ

永明地区・下長磯町奨励員

森村 茂美

新型コロナウイルスの感染拡大は、永明地区や町内自治会活動に影響を与えています。地区行事でいえば、春の「伸びゆく子どもの集い」はすでに中止。二年連続で開催が見送られた秋の市民運動会は今年度も開催が難しいようです。令和元年度に優勝した下長磯町は優勝旗と優勝杯を預かったままの状態が続いています。

当町内には江戸時代中期から伝わる「操扇式三番叟」があります。保存会員たちによって毎年、四月第三日曜日に開催される稲荷神社春季例大祭に奉納上演していますが、新型コロナウイルス

拡大の影響で三年連続で中止となりました。

厳肅な神事芸能であり、神格化された「翁」や「千歳」「三番」の三体の人形によって五穀豊穡、国家安寧などを祈願。人形は二人一組で演じる二人遣いが特徴とされています。

大学などの学術調査で「三番」の頭の部分に「安永九年 細工人 桐生 永山熊蔵」の銘があることが判明。昭和三四年に県指定重要文化財(後に県指定重要無形文化財に指定替え)、四五年には国の選択重要無形文化財に指定されています。

保存会では今、上演時に舞台となる稲荷神社拝殿に飾り付ける「垂幕」と「腰幕」を更新する方向で話が進んでいます。経年劣化で痛みが激しくなっていたため、国や県、前橋市の協力も得られたようです。来年の稲荷神社春季例大祭と三番叟上演に間に合うことができました。初の披露になるかもしれませんが、コロナが収束して町民全員で伝統の「三番叟」を楽しめる日が来てほしいと願うばかりです。

安全と思いやりの心を

町内に広げる活動を

五中地区・文京町三丁目奨励員

下田 徳江

わが町は、文京・天川地区八町の一つです。町の中を東西に前橋・館林線が通っています。中央部に市立天川小

学校、第五中学校があります。

五中の隣接に第五コミュニティセンターがあります。現在八〇以上の団体の人が、学習・スポーツ・趣味にと生涯学習に取り組んでいます。それから市役所の証明書コーナーが併設されていてとても便利です。町の南部に県立図書館があります。研究資料や一部展示もされていて見学できます。

文書館の隣接地に二子山古墳があります。『国指定史跡 前橋二子山古墳昭和二年国史跡に指定され、地名を取った天川二子山古墳、型は前方後円墳で墳丘は二段に築かれています。墳丘の表面は川原石が厚く敷きつめられていますが、墳丘を保護するため薄く盛圧をしています。埋葬施設は未調査ですが、横穴式石室と推定されます。周囲をめぐる堀の一部が県立文書館の敷地内で確認されました。墳丘の規模は全長一〇四m、前方部巾七六m、後円部経七二m、前方部高九・五m、後円部高一・四(碑文より)。

文京町三丁目には、二子山公園愛護会があります。毎月第三日曜日前八時三〇分、会員・自治会・町民有志が集まり公園広場の草とり、花の手入れをしています。六月は桜の花が見事に咲きます。六月はヘメロカリスの花壇(約三×一〇m)が三つあり、赤・黄色の花が咲きみだれ、町民の散歩コースです。

文京町三丁目は、子供と高齢者の安全と思いやりの心を広げる町づくりを目指しています。

新人奨励員の
研修会開く活動推進の手立てに
三部構成で学び合う

今年は委嘱替えの年。総会後の六月三〇日に各地区から多くの新しい奨励員を迎え、これから各地域で奨励員としての活動を実践していく第一歩としての研修会を開催しました。

コロナ禍のため感染予防対策として、参加者を地区ごとに午前午後に分けての実施となりました。

学習がつくる地域の輪

研修内容は三部構成で、最初にDVDナトコ映画「公民館」を視聴し次に「生涯学習活動がつくる地域の輪」奨励員活動について」最後に龍蔵寺町静敬治奨励



中央公民館に集った新任奨励員

の役割や思いを話しました。

まず、映画「公民館」についてですが、この映画は一九五〇年に制作されたもので、社会教育法が一九四九年に施行されたことに伴って、公民館が法的裏づけをもって活動しはじめた頃の貴重な映像です。初めに出てきたのは福島県の山の奥、柳津町公民館をつくるいきさつでした。そのころは女性の地位も低く、文化的にも遅れていたこの地域に公民館にいかに来てもらうかが問題の一つでもありました。

住民は食べることに精一杯で公民館等に行くことは暇つぶしと思っている住民に、公民館に向くことでどれだけのメリットがあるかを説いて回る様子が映されていました。公民館は地域の住民のために実生活に役立つ教育や文化・教養に関する講座を開き、学ぶ喜びや仲間と集う喜びを感じて、楽しそうに、いきいきとした人々の姿が印象的でした。映画の中では全国の公民館をまわり色々などころでの公民館活動の映像があるようですが、時間の都合で一部の視聴となりました。

現在も公民館事業と言われる様々な事が生涯学習活動と深くかかわっています。映画の出来たころの住民の意識と今では若干変わってきているようにも思いますが、住民にとって地域で豊

員の活動の事例の話と鶴光路町持田みね子奨励員の奨励員になって

かにいきっていくためには、公民館はなくてはならない存在だと思っています。

出会いを学ぶ機会に

最後は持田奨励員が、「町内の様々な活動を取り組む中で、色々な人と出会い学ぶ機会を得て、やりがいや生きがいを感じてきました。これからの地域は高齢者支援活動や防災、防犯の視点から見ても人のつながりが大切になってきます。人のつながる場所づくりを目指して頑張りたいと思います。」と話しました。

静奨励員は、町内で精力的に活動を展開してきた事例を発表しました。「龍蔵寺町かるた」「戦争体験記録集・感想文集」「ZOOMによる夏休み絵画教室」です。このような活動が実践できたのは「町民の知恵と感性と意欲」「町民の協調性」と思いやりの再発見「町民と楽しみながら活動」と締めくくっていました。

学習成果の地域還元を

生涯学習課・井上乃愛主事の講話から、生涯学習とは、様々な場所や機会において行う全ての学習のことであり、長期的な学習です。そんな生涯学習を個人の中だけに納めず、地域社会に還元していくのが奨励員の役割です。生涯学習奨励員制度は昭和六一年に発足しました。二八四ある各自治会から一人選出されます。具体的にどんなことをやるかというと、自治会や町の公民館を会場にして学習機会の提供を行っ

たり、生涯学習に関する情報提供や相談対応など「町の学びのボランティア」として様々な生涯学習活動を奨励・補助を行います。活動を行う上で自治会の理解や支援が非常に重要になります。コロナ禍での活動は大変な場面も多々あると思いますが、本市の生涯学習活動へのご協力よろしく願います。

(広報委員長 持田みね子)

あゆみ (4月～7月)

▼II 主要事項

- 4・6 総務委員会▼理事会対応案件
- 4・19 第1回理事会▼令和4年度事業・予算等総会関連▼令和4年度総会関連▼令和4年度委嘱状交付式関連
- ▼新任奨励員研修会計画関連
- 4・22 総務委員会▼総会関係資料作成作業
- 5・20 令和4年度委嘱状交付式および新任奨励員感謝状贈呈式
- 令和4年度総会
- 5・30 生涯学習フェスティバル2022 第1回代表者会議▼行事開催計画ほか(9月3日開催予定)
- 6・28 総務委員会▼理事会対応案件
- 6・30 新任生涯学習奨励員研修会
- 7・15 フェスティバル第2回代表者会議▼開催中止を決定
- 7・19 第3回理事会▼フェスティバル開催を中止
- 広報委員会▼会報94号原稿関連
- 研修委員会▼前奨連セミナー・実践研究会開催計画ほか